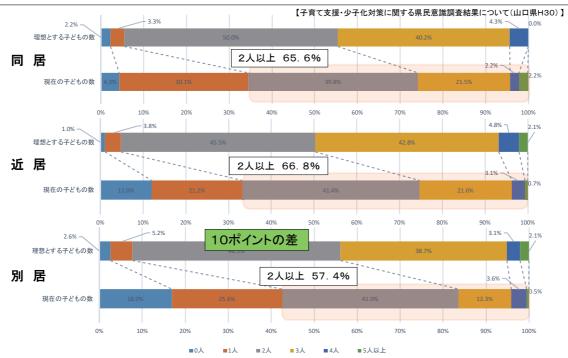
# 統計データ

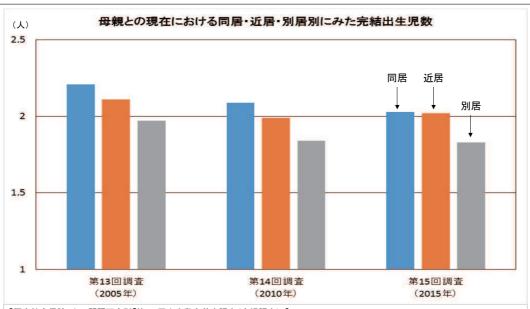
### 居住形態に見る子供の数[山口県]

○実際の子供の数が2人以上の割合は、同居(65.6%)、近居(66.8%)で、 別居の場合は、57.4%と、10ポイント近く下回る。



### 母親との現在における同・近・別居の別にみた完結出生児

〇別居に比べ、同居・近居の方が完結出生児数も多い傾向



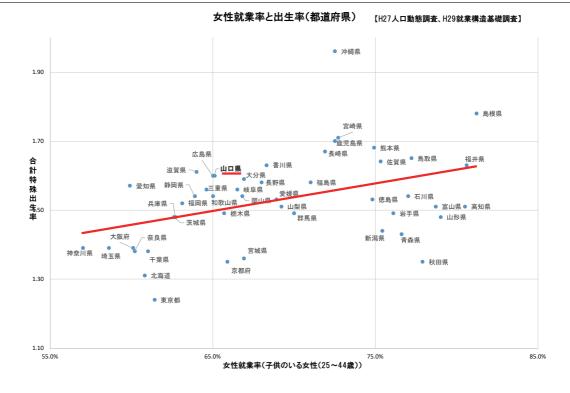
【国立社会保障·人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)」】

※「夫婦の完結出生児数」とは、結婚持続期間(結婚からの経過期間)15~19年夫婦の平均出生子ども数であり、夫婦の最終的な平均出生子とも数であり、夫婦の最終的な平均出生子ども数とみなされる。

(注) 初婚どうしの夫婦を対象とする。夫あるいは妻の母親のいずれかが同居、あるいは別居していれば、それぞれのカテゴリーに属する。同居には同じ敷地内で別居の場合も含む。近居は、同じ市区町村内で別居している場合。

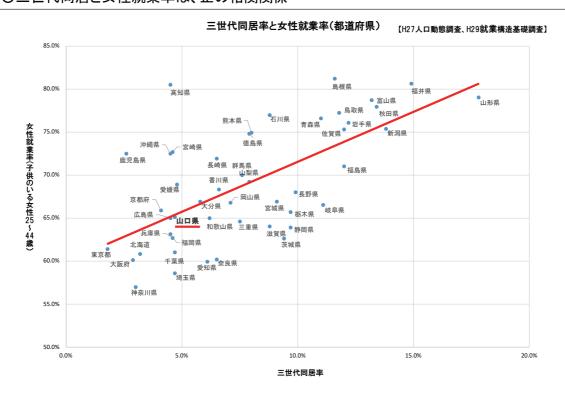
## 女性就業率と出生率[都道府県]

〇女性の就業率と出生率は正の相関関係



## 三世代同居と女性就業率[都道府県]

○三世代同居と女性就業率は、正の相関関係

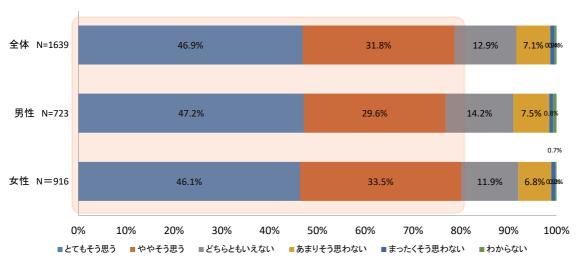


### 祖父母の育児や家事の手助け

〇子どもが小学校に入学するまでの間、祖父母が育児や家事の手助けをすることが望ましいと する回答が、約8割を占める。

> 【平成25年度「家族と地域における子育でに関する意識調査」(内閣府)】 ※調査対象:全国の20~79歳までの男女

祖父母の育児や家事の手助け

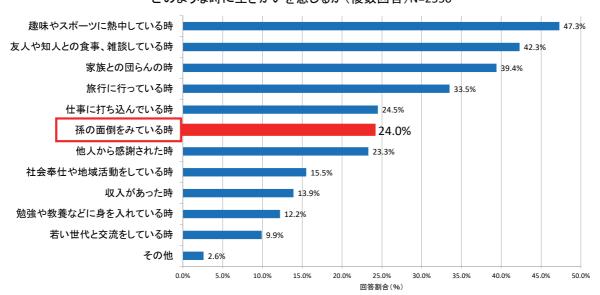


#### 高齢者の生きがい(国調査)

○「孫の面倒をみている時」に生きがいを感じるとの回答が24%→孫の面倒をみることは、負担に感じていないと考えられる

【平成23年「高齢者の経済生活に関する意識調査」(内閣府)】 ※調査対象:全国の55歳以上の男女

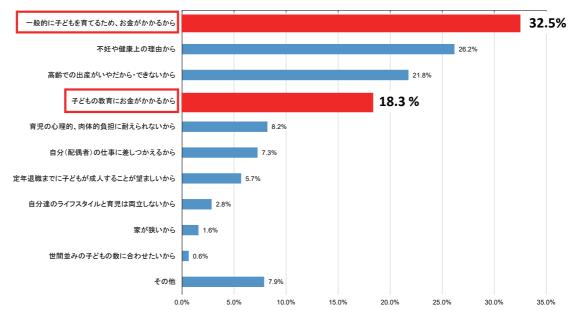
どのような時に生きがいを感じるか(複数回答)N=2550



#### 理想の子どもの数を持たない理由[山口県]

- ○「子供を育てるのにお金がかかるから」、「子供の教育にお金がかかるから」という理由が上位にある。
  - →経済的な理由がネックとなっている可能性

【子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査結果について(山口県H30)】



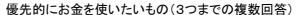
#### 高齢者が今後、優先的にお金を使いたいもの[国調査]

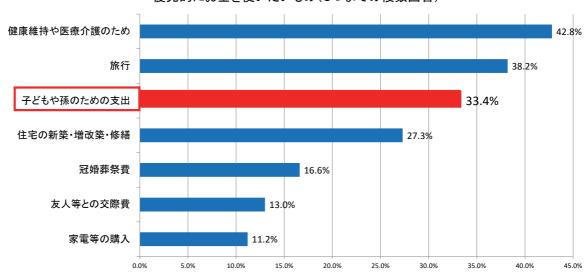
- 〇「子どもや孫のための支出」との回答が、約3割ある。
  - →孫関係支出による消費効果

同居の孫:8.7万円/人、別居の孫:7.2万円/人

「孫」への支出実態調査(2011年度調査)(共立総合研究所(岐阜県))

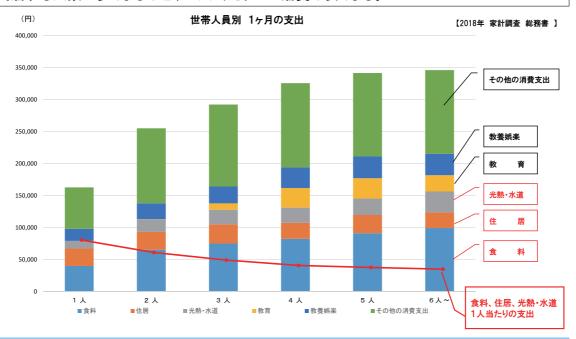
【平成23年「高齢者の経済生活に関する意識調査」(内閣府)】 ※調査対象:全国の55歳以上の男女





### 世帯人員別 1ヶ月の支出(国調査)

〇同居する人数が多くなるほど、一人当たりの生活費は安くなる。

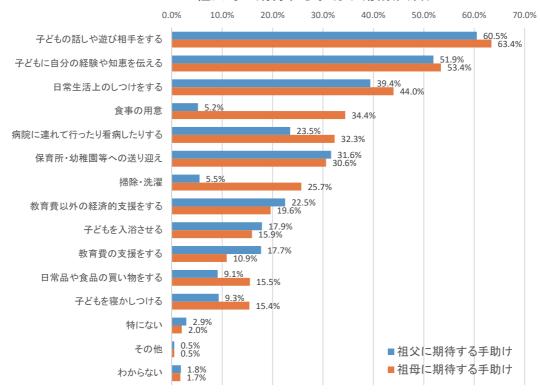


### 祖父母に期待する手助け(国調査)

○祖父母に期待する手助けの 1 位は子どもの話や遊び相手をするで、約 60%が回答。 ○2 位は、子どもに自分の経験や知恵を伝える、3 位は日常生活上のしつけをする。

【平成 25 年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」(内閣府) 】 ※調査対象: 全国の20~79歳までの男女

祖父母に期待する手助け(複数回答)

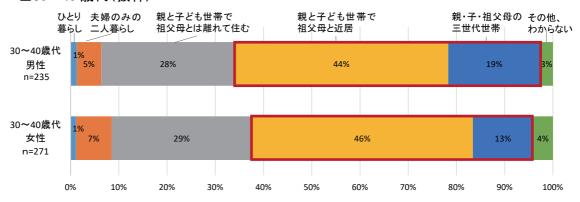


#### 理想の家族の住まい方(国調査)

- 子育て世代にあたる 30~40 歳代の約 60%が、三世代同居・近居を理想の家族の住まい方と考えている。
- 三世代世帯の約 65%が、三世代同居・近居を理想の家族の住まい方と考えており、二世代世帯(親と子)や他の世帯構成に比べて多い。

【平成25年度「家族と地域における子育てに関する意識調査」 (内閣府) 】 ※調査対象:全国の20~79歳までの男女

#### ■30~40 歳代(抜粋)



#### ■世帯構成別

